

令和8年10月1日

立教189年

10月号
第649号



発行所

天理教字仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

10月27日(火) 第100回 天理教青年会総会

11月1日(日) 第31回 女子青年大会



少年会 夏の集い さんさいの里キャンプ

散歩道

今夏は全国各地で自然災害が相次いだ。国や自治体、ボランティアなど大勢の方が被災地へと出向いた。どれもが甚大な被害で、数ヶ月で片付くものではないのは明白である。

先日一年半ぶりに能登半島へボランティアに行かせていただいた。一年半前、店員不足で土日に店を閉めていたコンビニも、人が戻り通常通り営業できるようになっていた。復興への道が進んでいるところもある。一方、まだまだ手つかずのところもある。今回お伺いした中に地区の区長さんのお宅があった。我が家のことは後回しにして地域の方の片付けを優先されていたようで、これから本格的に手をつけることを知った次第である。今回お世話になったボランティアセンターも同じく、社会福祉協議会が自治体の都合で窓口を閉鎖せざるを得ない状況になり、当時勤めていた職員さんが退職してまで設けてくださったボランティア窓口があった。時が経つにつれ被災地への意識が薄まり、最後まで支援することの難しさを改めて知ることとなった。

一理塚

立教の日のお話

天理教では、天保九年、今から百八十年以上前の十月二十六日を、おやさまが親神様の思召しをお受けになり、私たち人間を救うためのお働きを始められた「立教の日」としています。私たちは毎年、この日を迎えます。しかし、年月が経つにつれて、どうしても「昔の出来事」として聞いてしまうことがあります。

「天保九年に、こういうことがありました」「おやさまがこういうことをなさいました」もちろん、それを知ること大切ですが、でも、立教の日というのは、単に昔を振り返る日ではないのではないかと思います。なぜなら、私たち一人ひとりが、今こうして教会に集い、親神様を拝み、教えを聞かせていただいていることも、もとをたどれば、この天保九年十月二十六日から始まっているからです。おやさまは、私たち人間が陽

気に暮らすことを願われ、そのために教えをお伝えくださいました。そして、その教えを聞いた人が、また誰かを助け、誰かに親切をし、苦しんでいる人に声をかける。そうして教えが人から人へ伝わって、今日の私たちにつながっています。

考えてみれば、この教会もそうです。今ここに集まっている私たちは、それぞれ違った人生を歩んできました。家庭のこと、仕事のこと、身体のこと、人間関係のこと。皆さんそれぞれに、いろいろな苦労があると思います。それでも、こうして同じ教会に集まり、同じ親神様を仰いでいる。これは決して当たり前のことではありません。

私は、立教の日を迎えるたびに、「自分はこの教えを次の人へ渡せているだろうか」と考えます。

立派なことをしなければならぬ、ということではありません。朝、家族に優しい言葉をかける。困っている人がいたら、少し手を差し伸べる。誰かの話を黙って聞いてあげる。腹の立

つことがあっても、一度心を落ち着ける。そして、毎日を親神様のおかげと喜んで暮らす。

そうした小さなことのひとつが、教祖の教えを今日の生活の中で実践することなのではないでしょうか。

天保九年十月二十六日に始まった道は、今も続いています。そして、その道の続きを歩いているのは、特別な誰かではなく、ここにいる私たち一人ひとりです。

立教の日を記念するということは、昔を懐かしむだけではなく、「これから自分はどうか生きるか」を親神様の前で改めて考える日でもあると思います。

おやさまが始めてくださった道を、私たちの代で終わらせることなく、家庭へ、地域へ、そして次の世代へと、細くてもいい、途切れさせずにつないでいきたいと思っています。

立教の日を改めて心を定め、これからの一年も、親神様の守護をいただきながら、互いに助け合い、喜び合い、一日一日を大切に歩ませていただきたいと思います。

第31回 女子青年大会

友達誘って おやさとちばへ
～伝えよう 私たちからみ教えを～

立教189年 2026年 11/1日

式典 ▶ 午前10時
記念行事 ▶ 式典終了後
支部の時間 ～ 話そうみんなで～

本部中庭

※別席※
おちばに帰らせていただく
この機会に別席を選びましょう。
また、別席者のご守護を頂きましょう。

記念行事 おやさとマルシェ
時間 / タブとめ後 ～ 午後8時
場所 / 東・西泉水プール前広場

各地のおいしいものや
雑貨などの模擬店を
楽しもう!

10/31

天理教婦人会

TENRIKYO SEINENKAI

第100回

天理教青年会総会

式典 10.27 火

午前10時 / 本部中庭

前夜祭 10.26 月

タブとめ後 午後6時 /
東西泉水プール前広場

詳細はホームページから

少年会 夏の集い さんさいの里キャンプ

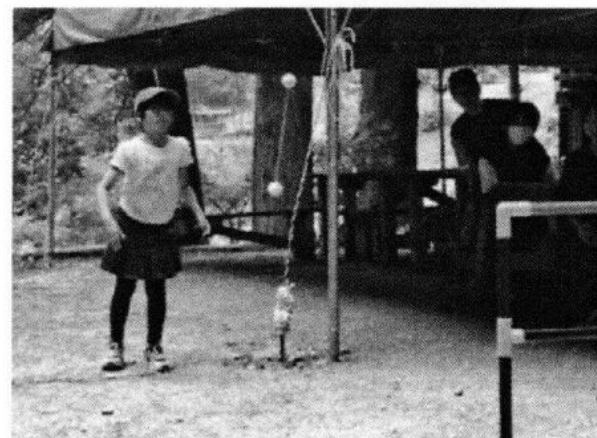
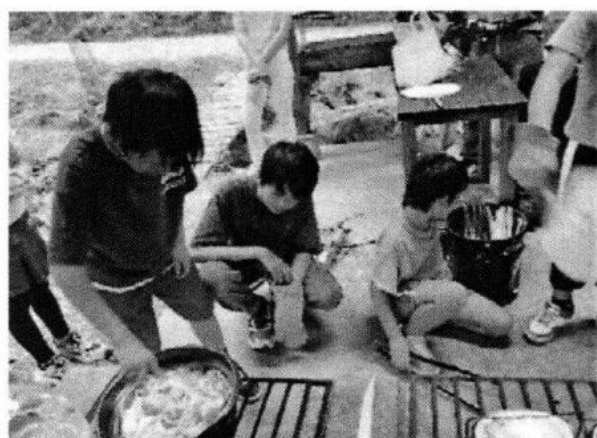
少年会宇仁団は今年も八月二十一日～二十二日にかけて、天理教少年野外活動センター「さんさいの里」にて夏休みキャンプに参加しました。参加者は少年会員六名、育成会員七名（うち高校生二名）の計十三名でした。

「たすけあいと創造」がテーマのキャンプ場となっていて、火おこしからのご飯作りや、男女対抗のゲーム、クラフトで手回し木琴を作成するなど、みんなで協力しながらいろんなプログラムを楽しみました。

またこの日程での宿泊は宇仁団だけでしたので、夜からは貸切り状態で、キャンプファイヤーをはじめ、少年会本部のスタッフの皆様には手厚くお世話取り頂きました。

たった二日間ですが、親元を離れて自然の中で生活する中で、今までの当たり前が有り難い事だと気付いて成長出来る機会にもなります。

今年参加してくれた子も「来年も行きたい!」と言ってくれましたので、来年も計画させて貰います。皆さんもぜひご参加下さい。



布教推進講習会

八月二十四日、祭典終了後に布教推進講習会を開催。本部准員・天理教校本科研究課程主任の山澤昭造先生を講師としてお招きし、かぐらづとめと元初まりの話から、おつとめの理全般についてお話しいただきました。



おつとめの地歌・鳴物・手振りには全て教祖の教えであり、親神様の「たすけたい・たすかってもらいたい」との親心が込められていると強調。真柱様の「諭達第一号」から「ようぼくはまず日々の、月々のつとめに親の理をいただき」との一説を引き、自身の体験も交え、朝夕

のおつとめこそが基礎であり、全てのおつとめは底で繋がっていると述べられました。

毎日おつとめを勤めることで心が神一条に変わり、運命が良き方向に導かれると語られ、九月の布教の月に向けて、おつとめの勇み心を持って布教に歩むことを呼びかけられました。

大教会布教実動(九月)

九月十五日(火) 九月二回目の布教実動日、雨の降る中でしたが、七名の参加者で西脇市役所周辺を歩かせて頂きました。



大教会布教実動日(十月)

○第一回実動日

日時..十月八日(木)
十三時半~十五時
場所..加東分教会
内容..神名流し、路傍講演
持ち物..リーフレット
担当..原田道彦
(080-8525-2942)

○第二回実動日

日時..十月十五日(木)
十三時半~十五時
場所..大教会
内容..戸別訪問、ふりかえり
持ち物..リーフレット
担当..布教部

○第三回実動日

日時..十月二十四日(土)
時間は祭典終了後にご案内いたします
場所..大教会
内容..神名流し
持ち物..はっぴ
担当..布教部

おぢば通信

八月のうごき

◎初席者

豊原

住吉ななみ

◎八月帰参者

一九八名
(詰所調べ)

十月行事予定表

8日	大教会第一回布教実動日
9日	婦人会例会
13日	青年会例会
15日	大教会第二回布教実動日
22日	少年会例会
24日	大教会秋季大祭 午前十時三十分執行 神殿講話・世話人先生 大教会第三回布教実動日
26日	本部秋季大祭 午前八時執行
27日	天理教青年会前夜祭 第百回 天理教青年会総会

婦人会より

◇大教会炊事当番
10月 直 属
11月 神福B
12月 中河合
◇詰所炊事当番
10月 神福A
11月 直 属
12月 神福B
よろしく
お願いします